

5-FU 持続静注療法

FN:低 催吐性:軽度

診断名: 進行再発胃癌 [高度腹膜播種による経口摂取不能症例]

○投与スケジュール(1 コース 28 日間)

Day1~5(点滴):フルオロウラシル(5-FU) 800mg/m²/day

○注意事項

1. 腹膜転移を有する症例を対象とした、臨床第Ⅲ相臨床試験(JCOG0106 試験)では 5-FU 持続静注療法とメトトレキサート+5-FU の時間差療法が比較された。生存期間に有意な差はなく、5-FU 持続静注療法の毒性が低いことが示された。
2. 持続点滴を要するほど経口摂取困難な症例において、5-FU 持続静注療法により 41%で経口摂取の改善が得られた。
3. 臨床試験では大量腹水症例は除外されていたため注意。